ボランティア新聞

犬の散歩のボランティア

犬の保護

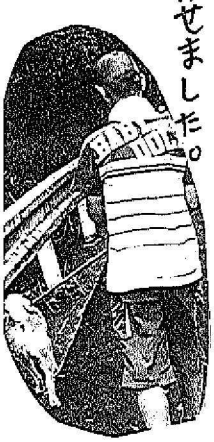
8月11日にぼくは、捨てられた犬を保護する、アニマルメリーランドというボランティア団体の所へ行きました。

捨てられている犬や、飼い主が見つからない犬やネコは、保健所で殺されてしまう事が多いです。

それを防ぐために捨てられた犬などを引き取り世話をして、里親を探しているボランティア団体がアニマルメリーランドです。

アニマルメリーランドを食べるくいしんぼうでした。

散歩中に、犬が水を飲んで、しばらく動かなくても、無理矢理ひっぱったりしないでだのペース入に合わせました。



ぼくは、今回犬の散歩のボランティアをしてきました。

犬の散歩をして

ぼくは、山道を歩きました。道路を歩く時は、リードを短く持って、犬が車道に入らないように歩きました。

車が来ない所は、リードを長く持ち犬のペースに合わせて、ゆっくり歩きました。

散歩のとちゅうでエサをあげました。散歩のとちゅうで犬がフンをしたらぼくが取って、しせつまで持って帰りました。

ぼくが散歩していた犬はおとなしかったけどくいしんぼうだったけど、弟が散歩していた犬は、とても元気があっていっぱいエサを食べるくいしんぼうでした。

事故に合った犬

弟が散歩していた犬は、昔事故に合っていました。

そのためかし歩き方がおかしかったり背中に大きな傷ができて、毛がはえなくなっていました。

事故に合った犬を見て、この犬は人をきらったりしていないのかなと思いました。

でも、弟が散歩しているのを見るとこの犬は人をきらったりしていなくて、その反対で人なつっこくて、とてもやさしい目をしていました。

この犬だけでなく、ぼくが散歩した犬も、お父さんが散歩していた犬もみんなやさしい目をしていました。

昔は、飼い主に捨てられたかもしれないのに、なぜそんなにおだやかにいられるのかなと思いました。

ぼくは、この犬は事故に合ったり、捨てられたりしたけど、ボランティアのんに引き取られて、世話をしてもらっていたら、昔のこわかった思いが減って、今みたいなおだやかな目になったのだと思いました。

ボランティアをした感想

ぼくは、このボランティアをして、捨てられたどうやネコを、保護する、アニマルメリーランドの人は犬が保健所で殺されるのを少しでも防ぐために作られていて、納得出来ました。

ネコを世話するのは、とてもしんどい事だと思いました。

でもそんなしんどいことを進んでできるボランティアのんは、すごいなと思いました。

ぼくはこのボランティアをじっさいにやってみて、十五分位の散歩を百頭もしないといけないと考えると、一頭でもしんどいのに、それを百頭するボランティアの人は、たいへんだなと思いました。

新しい飼い主を早く探して、保健所で殺される犬の数をなるべく減らしていけたらいいなと思いました。

ぼくは、これからこのようなボランティアを進んで手伝いたいです。